

乳牛の体型審査を受審

乳牛は、生涯を通じてどのくらい生乳を生産するかが重要であり、この泌乳能力を長期間にわたり維持するには、骨格のしっかりした体型、形の良い乳房、丈夫な肢や蹄などが必要です。

その牛の生涯にわたる泌乳能力を判定する唯一の手法が、日本ホルスタイン登録協会の審査委員による体型審査となります。

当センターでは7月11日に飼養牛4頭が受審し、各個体の優点、欠点について講評を受け、今後の改良の方向性、飼養管理などについて助言をいただきました。

今後、この結果をふまえ、泌乳能力が高く、長命連産性のある乳牛を目指して改良を進め、府内酪農家をけん引していきます。



審査の様子

畜産センター